

- 1 目標
- ・「居心地がよく、いつでも気軽に利用したくなる魅力ある学校図書館」として、児童生徒が学校図書館を身近に感じられるようにする。

・「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、月に一回以上、学校図書館や地域の図書館に行く」と回答する児童生徒の割合を全国平均以上にする。（全国学力・学習状況調査、学期末アンケート）
- ※現状値【R5守口】小27%中13%【R5全国】小33%中19%
- 2 事業実施校

金田小学校

現状：学校図書館が教室のある中央校舎から離れた東校舎の3階にあり、休憩時間等に気軽に来館できないため、中央校舎3階に移設し活用を促進する計画があった。また、令和5年度より、大阪府の学校図書館の充実・活用のためのモデル校となり、研究に取り組んでいる。

錦中学校

現状：学校図書館が2階の職員室の近くにあり、生徒が利用しやすい位置に配置されているものの、読書習慣の定着について市平均を下回る現状であり、環境整備面での工夫が必要である。

